

# 北斎通り まちづくりニュース

No. 36

2025年5月発行

まちづくり活動情報誌  
北斎通りまちづくりの会発行 <https://www.hokusai-dori.com>

北斎通りまちづくりの会の活動に参加しませんか?  
新メンバー募集中です。 連絡先 : [bureau@hokusai-dori.com](mailto:bureau@hokusai-dori.com)



ホームページ



メールアドレス

## 2025年度の活動予定

北斎通りまちづくりの会では下記の日時・内容にて催しを行う予定です。  
詳細は当会のホームページをご参照ください。



### 灯りのフェスティバル

日時：10月11日（土）夕刻 場所：大横川親水公園噴水広場  
関東大震災や東京大空襲で亡くなられた方々への鎮魂および未来の安心・安全なまちづくりへの願いを込め、キャンドルライトアップイベントを行います。2023年度から環境面に配慮し、灯りをLEDにしました。



### ワークショップ・展示

日時：10月25日（土）日中  
場所：すみだ北斎美術館MARUGEN100（講座室）など  
親子で参加できる、地域の歴史や文化にちなんだワークショップや展示を行います。



### 砲術演武

日時：10月25日（土）夕刻 場所：北斎通り  
御台場の築造で有名な伊豆葺山代官の江川太郎左衛門英龍は、現在の緑町公園付近に江戸役宅を構えていた亀沢ゆかりの人物です。幕末の西洋砲術家、高島秋帆から砲術を学んだ英龍は自ら塾を開き、多くの幕末志士が彼から砲術を学んでいます。地域の歴史や文化の再発見として、当時を再現した西洋流砲術の演武を行います。



### 弘前ねぶた運行

日時：10月25日（土）夕刻 場所：北斎通り  
江戸時代に弘前藩津軽家の上屋敷が亀沢（緑町公園付近）にあった由縁より、青森県弘前市から大型の扇ねぶたがやってきます。300人近くの参列者による隊列は約200mの長さになり、夕暮れ時の北斎通りを練り歩きます。

## 弘前ねぶた祭りに参加しました

2024年8月1日（木）に行われた弘前ねぶた祭りに参加し、本場のねぶた祭りを体験してきました。当日は天候に恵まれ、市民中央広場前で行われた出陣式の後、「ヤーヤドー」の掛け声とともに、土手町コースを1時間弱練り歩きました。沿道は多くの見学者で溢れ、参列者と見学者が一体となって盛り上がっていました。

翌日は弘前市役所を訪れ、北斎祭りでの弘前ねぶた運行について弘前市観光課と事前協議を行いました。



弘前ねぶた祭りのようす

## 亀沢地区建替え調整協議会の活動

2012年10月からスタートした、亀沢地区建替え調整協議会の活動をご存知ですか。北斎通りまちづくりの会と亀沢連合町会とで立ち上げ、区集合住宅条例や開発指導要綱の対象になる建築計画に対して、事業者、地域住民、専門家が意見交換を行います。地域の住環境を理解し、景観、防災、コミュニティ等の視点から地域にふさわしい建築計画について話し合い、併せて町会加入を促します。

2024年度は6件の建築計画について協議をおこないました。一覧表の左端数字は協議会開催の通し番号を示し、これまでに80件の建築計画について協議会を開催してきました。

### <令和6年度に開催した亀沢地区建替え調整協議一覧表>

75 2024年5月21日 亀四会館にて開催

（仮称）墨田区亀沢4丁目Tプロジェクト新築工事  
賃貸住宅18戸（建設場所：亀沢4-17-18）

76 2024年6月3日 亀四会館にて開催

（仮称）墨田区亀沢4丁目計画  
賃貸住戸24戸（建設場所：亀沢4-15-13）

77 2024年9月18日 亀三会館にて開催

CAU88 鈴木様邸新築工事  
賃貸住宅11戸（建設場所：亀沢3-10-5）

78 2024年12月25日 亀三会館にて開催

（仮称）亀沢3丁目共同住宅 新築工事  
賃貸住戸36戸（建設場所：亀沢3-21-4）

79 2025年3月4日 亀四会館にて開催

（仮称）錦糸町VIプロジェクト  
賃貸住戸42戸（建設場所：亀沢4-21-3）

80 2025年3月6日 亀四会館にて開催

（仮称）東京都墨田区亀沢4丁目計画  
分譲住戸31戸（建設場所：亀沢4-6-14）

## 亀一町会法人化への協力のお願い

当町会は現在、地方自治法第260条の2の「地縁による団体」法人化を目指しています。一昨年、宮崎駿監督のお祖父様やお父様の会社「宮崎航空興学」があった由緒ある双葉稻荷神社の土地を購入しましたが、法人化されていないため、亀沢一丁目町会名義での所有権登記ができておりません。亀沢一丁目町内在住の皆さんには、墨田区役所へ提出する名簿に是非ともご記名をお願いします。

（亀沢一丁目町会）

## 西洋流火術鉄砲隊保存会の活動

昨年に引き続き、今年の北斎祭りでも砲術演武を行う予定です。ここでは、演武を行う西洋流火術鉄砲隊保存会のご紹介をさせていただきます。当会は、板橋区高島平の地名由来の人物である、長崎町年寄出身の西洋砲術家「高島秋帆」が天保12年に武州徳丸原（現、高島平）で行った西洋流砲術調練を再現する目的で平成14年4月に結成しました。

以来、地元板橋区内で開催される、板橋区民まつりや赤塚梅まつりなどの祭礼や、日野市での新選組まつりでの演武を例年行っています。さらに、石川県金沢市、静岡県伊豆の国市、長野県長野市松代、栃木県壬生町など西洋流砲術に縁のある自治体から依頼を受け演武を行ってきました。

通常は、演武に向けての練習を板橋区内の公共施設で行っています。練習では射撃や行進の動作を反復練習しますが、通常の練習では火薬を使用できないため、年に1~2回栃木県の射撃場で火薬を用いた練習を行っています。

全体会員数は20名ほどで、そのうち射撃を行う銃士会員は10名強と、それほど多くはありませんが、平均年齢は他の鉄砲隊と比べ若くなっています。そのため、西洋流砲術の特徴である速やかな展開や陣形変換を再現することができ、ベテラン会員も若者に負けじと互いに切磋琢磨しています。

昨年は、亀沢ゆかりの人物である江川太郎左衛門英龍に注目されるところで、英龍の砲術の師である高島秋帆の顕彰活動を行う当会にお声がけをいただきました。

実は、秋帆は徳丸原での調練の翌年、守旧派の讒言によって投獄されてしまいます。この間西洋流砲術の普及に努めたのが英龍でした。そして約10年後、ペリー来航に伴う社会情勢の変化と英龍が働きかけたことで赦免、その後しばらくの間は英龍の江戸役宅で生活していました。そういう意味で、当会にとっても亀沢は、ゆかりの地といえます。

昨年度に続き、今年度もよろしくお願ひいたします。

（西洋流火術鉄砲隊保存会会長 勝田真幸）



西洋流火術鉄砲隊保存会の皆さん